



デージー図書製作研修

宅配サービスは、来館が困難な方に本や雑誌などをお届けするサービス

開催します。

また、対面朗読や録音図書製作に携わる新たな音訳者を育成するため、「音訳者養成講座(初級)」を秋に開催します。

22年度事業計画

サービスの拡張を予定しており、利用者のニーズを把握するため、アンケート調査を行います。

音声をデジタル化してCD・Rに録音したもので、一枚に約五十時間も収録できるのが特徴です。

テープ図書に代わり、希望が急増しています。

デージー図書は、

児童サービス

児童・青少年に対しては、0歳から十二歳までを対象とした児童サービスと、十三歳から十八歳までを対象としたヤングアダルトサービスを展開しています。

「本を読む」ことの楽しさや喜び、「物事を調べ、答えをまとめる」ことの達成感を子どもたちに伝えていくために、子どもにとって楽しい資料や役に立つ資料の計画的な収集・提供に努めています。また、児童に関する様々な施設や活動をしている団体との連携をはかることにより、子どもたちの読書環境の整備を継続的に進めています。

今年度、児童サービスでは、今回で二回目となる「おはなし会ボランティア養成講座」を行います。二十年度に実施した一回目の受講者は、すでに各館のおはなしの会で活動しています。今回の講座で新たなボランティアの育成をはかるとともに、その活動を支援することにより、おはなしの会のさらなる充実をはかります。

ヤングアダルトサービスでは、現在発行している情報紙「CATCH」をヤングアダルト世代と共同編集することをめざしています。そのために、実施した一回目の受講者は、すでに各館のおはなしの会で活動しています。今回の講座で新たなボランティアの育成をはかるとともに、その活動を支援することにより、おはなしの会のさらなる充実をはかります。

成人サービス

成人サービスは、十八歳以上すべてという幅広い年齢層を対象として、図書・雑誌・CD等の多様な資料を提供しています。

今年度は、子育て世代、ビジネスパーソン、シニア世代のニーズに応える対象者別サービスに取り組みます。各館のサービスエリアの地域性や利用状況の特色を踏まえた上で進めます。講演会や大人を対象とした朗読会などの催し、情報紙「今月の本棚」の発行、全館統一展示は、本の世界を広げ、読書に親しみを持っていただくための情報提供として行っています。が、継続して実施します。

このほか、利用しやすい書棚づくりに取り組みます。対象者別サービスとも関連させ、特定の世代のニーズを意識した資料を集めたコーナーを設けたり、並べ方を工夫したりすることで、資料が探しやすい書棚をつくっていく予定です。雑誌については、保存期間を延長

レファレンスサービス

レファレンスサービスは、市民の調査・研究を支援するサービスです。今年度は、サービスの充実のために次の事柄に特に力を入れて取り組みます。

中央図書館の調査・研究用参考図書の収集・整理の充実を図り、市民の調査研究活動を援助します。質問・調査記録を蓄積・整理し、図書館ホームページ上で事例を公開して広く利用できるようにしていきます。さらに、事例が全国の図書館で活用されるように、国立国会図書館レファレンス共同データベース事業に参加します。

利用者用インターネット機器については、有害情報の排除、個人情報の保護などに配慮し適正な運用を行います。

平成二十一年七月から試行し、好評をいただいた「Webレファレンスサービス」を本格的に実施し、いつでも、どこからでもメールで図書館に質問・調査の申し込みができるようにします。

地域・行政資料サービス

地域・行政資料室は、「郷土に関する専門図書館」をめざしています。そのために、地域固有の資料を着実に継続して収集・保存し、西東京市の歴史を後世に伝えるよう努めています。

西東京市後期基本計画にも位置づけられた「歴史的資料の修復及び保存活用」の事業として、平成十九年度から「地租改正絵図」、「元禄三年田無村御検地帳」、「寛文十年田無村御検地帳」の修復を行ってまいりました。今年度は、「田畑其外直段書上帳」の修復に取り組みます。

同じく平成十九年度から実施している、旧田無市・旧保谷市の時代から収集していたフィルム・写真類を基に作成したパネルを展示する「なつかしの田無・保谷写真展」も、継続して行います。併せて、市内各学校、関係機関などへのパネルの貸し出しも進めます。

その一方で、緊急雇用対策事業を利用して写真資料の整備を進め、地域の変遷記録を保存するとともに情報提供の円滑化を図ります。



なつかしの田無・保谷写真展

また、西東京市誕生十周年記念事業として、「市政十周年を祝う郷土のあゆみ・図書館資料展」を行います。資料展では、「なつかしの田無・保谷写真展」展示パネルと、修復が完了した『地租改正絵図』『検地帳』など、図書館が所蔵する歴史的資料を記念式典と同時に公開展示します。配布の希望が多かった「なつかしの田無・保谷写真パネル図録」については改訂版を作成し、会場で販売する予定です。

ハンディキャップサービス

ハンディキャップサービスは、図書館を利用するときに何らかの障害が発生してしまう方たちに対して、その障害を取り除いた上で利用していただくサービスです。利用者は毎年少しずつ増加し、現在約五十名です。今後デージー図書の整備や宅配

Webレファレンスサービスを開始します。

利用方法

申し込みは図書館ホームページで

- ①西東京市図書館ホームページのレファレンスコーナー(トップページ左側のフレームの下部にあります)の「レファレンス受付」ボタンをクリックして、「Webレファレンス受付画面」に進んでください。



- ②受付画面に利用者ID(利用カードのバーコードの下の番号)、パスワード、質問の件名、内容を入力して、送信ボタンを押してください。



図書館ホームページからメールでレファレンスの申し込みができる「Webレファレンスサービス」を始めます。24時間、どこからでも申し込みができて大変便利です。どうぞご利用ください。

申込資格のある方

西東京市図書館に登録した利用カードを持っていて、パスワードとメールアドレスの登録をした西東京市民

質問は……

- ・質問内容は、できるだけ具体的にわかりやすくご記入ください。すでに調査済みの情報もお知らせください。
- ・受け付ける質問は、調査・回答が終了するまでの期間、お1人につき1件です。
- ・医療相談、法律相談、人生相談、古書・古文書・美術品等の鑑定、学習課題、クイズ、計算問題、個人の生命・名誉・財産に損害を与えたり、社会に直接悪影響を及ぼすと見られる問題など質問の内容によっては受け付けできない場合もあります。

回答は……

- ・回答は、登録されたメールアドレスに一週間以内にお送りします。電話などで回答する場合もあります。
- ・回答した内容の資料が必要な場合は、ご自身で予約してください。

調査の結果については、個人情報保護に十分注意をした上でレファレンス事例として保存し、公開する場合がありますのでご了承ください。詳細については、図書館ホームページ・レファレンスコーナーの「レファレンス案内」をご覧ください。